

電子かわら版

～京都府景観資産～

(No.11 平成26年7月)

京都府景観資産登録第14号

美しき命の源流うぶやの里・大原

大原神社とその後背地である鎮守の森、集落を東西に流れる大原神社御鎮座^{いわ}の謂れとなる「お釜さん」を含む清流川合川や隣接する大原の産屋と田園風景は、集落と一体となって美しい景観を形成しています。

大原神社をはじめとする四季折々の美しい「うぶやの里」は、集落の火伏せの神である秋葉神社が祀られている秋葉山から展望でき、「うぶやの里」を支える集落の区域が一体となった美しい景観を形成しています。



【大原の産屋】

大原の産屋は全国でも唯一、切妻の屋根をそのまま地面に伏せたような古い建築形式の天地根元造りです。

産屋は、この集落で妊婦の安らぎや魂のよみがえりを育む場として、昭和23年まで集落の人々に利用され、産屋の中の砂は、「子安砂」として大原神社の安産祈願授与のお守りとして用いられるなど、安産の神『大原神社』に守られた集落の産育習俗として伝承されています。

藁で葺かれた屋根は、以前は集落の人々が、8～10年毎に葺替を行うなど、集落の風習と密接に関わっており、昭和60年京都府指定有形民俗文化財に指定されています。

秋葉山から展望



毎年5月の最終日に実施されている御田植祭の様子

うぶや傍の田圃にて御田植神事に引き続き早乙女によりモンペ餅に菅笠を被り、昔ながらの姿で田植手植え作業の伝承と稲作の振興を兼ね実施されています。

京都市内からも、毎年多くの子供達が田植え体験などに参加しています。



大原に伝わる伝統芸能で、5年に1度大原神社例祭に奉納される、大原練り込み行列の様子



川合川は、夏はホタルが飛び交い、カジカの鳴く風光明媚な景観を醸し出しています。

KBS 京都 TV「みんなの京都ふらり」で

京都景観資産登録 14 号 美しき命の源流うぶやの里・大原の紹介が放送されます。

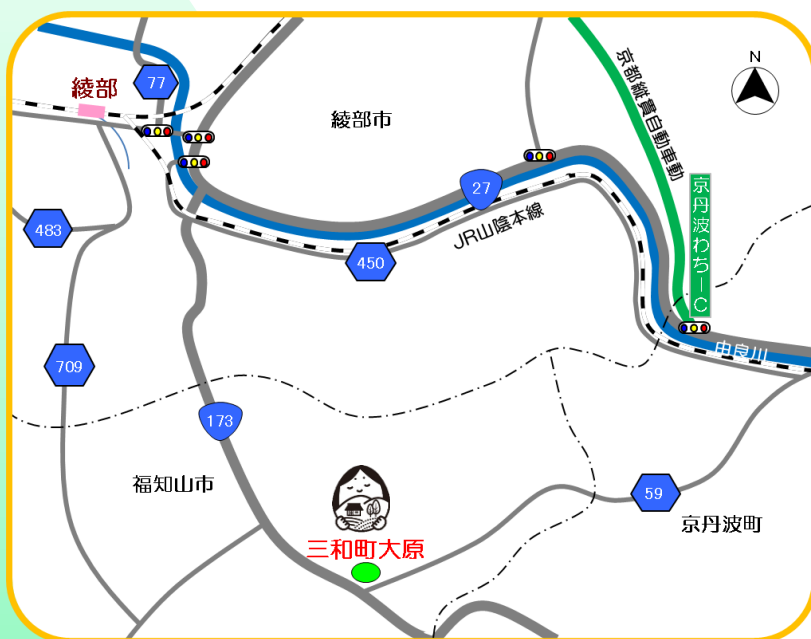
【放送日】 7月27日(日) 22:25-22:30

28日(月) 20:55-21:00 (再放送)

【参考】

ネット TV 京都府 HP

URL: <http://www.pref.kyoto.jp/bangumi/furari.html>



【住 所】 京都府福知山市三和町大原

【自動車】 京都縦貫自動車道『京丹波わちIC』から南西に約10分

【公共交通】 JR山陰本線『綾部駅』から福知山市バス『大原』下車すぐ ※福知山市バス：日・祝日は運休